

グランマが教えてくれたこと 仕事は生きる活力、明日への希望 株式会社アバンティの東北被災地支援活動



オーガニックコットン屋 (株)アバンティは小さな会社です。私たちに大きな支援はできません。だから、小さくてもコツコツと、被災地のグランマ達と同じ目線で10年、20年、寄り添っていきます。

①東北グランマ仕事づくり

2011年、東北グランマの仕事づくりの第一弾として、クリスマスオーナメントをつくりました。「仕事」が生きる活力、明日への希望に繋がることを、私たちはグランマ達から学びました。第二弾として、季節を問わない年間の仕事として「幸せお守り」を作っています。自然のアロマの香りを入れ、比叡山戒光院にて祈祷をして頂き、本物のお守りとして作りました。**被災地から未来への「しあわせ」を願って、ひと針ひと針、作っています**

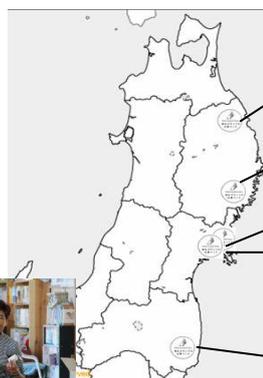
販売価格1,000円(税抜)



販売価格1,000円(税抜)



2012年、今年もクリスマスオーナメントはスタートしています。



- 岩手県久慈市
グランマ久慈作業所
- 岩手県陸前高田市
グランマ陸前高田作業所
- 宮城県本吉郡南三陸町
グランマ南三陸作業所
- 宮城県石巻市
グランマ石巻作業所
- 福島県いわき市
「福島コットンプロジェクト」



現在、企業からのOEM品等、約50名のグランマたちが
毎日楽しく、お喋りをしながら仕事をしています

東北グランマ仕事づくりWEBサイト

<http://portal.grandmaproject.jp/>

(株)アバンティ <http://www.avantijapan.co.jp>

株式会社アバンティ 広報:小関(コセキ)

E-mail: koseki@avantijapan.co.jp Tel. 03-3226-7789

②「福島コットンプロジェクト」

震災、原発と多くの困難を強いられている福島。特に農業に関する塩害・放射能・計画的避難などにより、耕作放棄された農地については、いまだその復元に向けた道筋さえ見えない状況です。こうした状況に対して少しでも改善に繋げようと、立ち上がったNPOザ・ピープル(いわき市・代表 吉田恵美子氏)がいわき市を中心に、多くの人たちの賛同を得てコットン栽培に挑戦します。株式会社アバンティは製品作りを軸として、このプロジェクトを全面的にバックアップをし、共に環境保全型農業として、オーガニックコットンの循環システム構築のためのモデル事業としてスタートをさせました。



主旨

1. 風評被害で野菜や米などが栽培困難となった土地や耕作放棄地を綿花栽培によって再生を図り、生産者、支援者、消費者を繋げ復興の力とする。
2. 福島において雇用創出も含め、繊維産業を再編成しオーガニックコットンの「ゆりかごから墓場まで」を目指す。
3. 福島において綿花の自給自足を目指す。自給率を0からプラスへ。



プロジェクトは現在約50名、企業、個人合わせて各分野のプロが集まっています。オーガニック栽培のプロの指導も受けながら、各農地での土壌検査、栽培方法の共有など、管理体制も整えています。

今後の検査予定

- 空間線量の測定、土壌検査(財団法人九州環境管理協会)
- 収穫後、綿花の放射能性物質検査
- 紡績後の糸の放射性物質検査
- 最終商品での検査



福島の地で「綿から製品作りまで」を目指してプロジェクトが始動しています。



第一弾商品としてコットンボールマスコット「Cotton Babe(コットンベイブ)」デビュー！
800円(税抜)